

新公立病院改革プラン

(荒尾市民病院 第二期 中期経営計画(平成 28 年度～32 年度)(仮称))

目次 新旧対照表

【新】

【旧】

1. 新・中期経営計画(仮)について (新)

2. 現状と課題

- (1)これまでの取り組み
- (2)当院を取り巻く環境
- (3)当院の状況

3. 当院の目指すべき姿

- (1)基本理念・方針
- (2)担うべき医療機能(5疾病・5事業等)
- (3)診療体制等

4. 経営基盤の安定

- (1)地域医療構想を踏まえた役割の明確化
 - ・地域医療構想を踏まえた当院の果たすべき役割
 - ・地域包括ケアシステムの構築に向けた当院の果たすべき役割 (新)
 - ・一般会計との負担区分
 - ・医療機能等指標に係る数値目標設定と考え方

- (2)経営の効率化
 - ・経営指標に係る数値目標設定と考え方
 - ・目標達成に向けた具体的取り組み
- (3)再編・ネットワーク化
- (4)経営形態の見直し

5. 数値目標等

- (1)新病院建設計画 (新)
- (2)収支計画

6. 点検・評価・公表

1. 市民病院の現状と課題

- (1)これまでの取り組み
- (2)直近の経営状況
- (3)市民病院の経営課題

2. 市民病院の目指す医療

- (1)急性期医療
- (2)救急医療
- (3)地域医療
- (4)予防医療・生活習慣病予防
- (5)高齢者医療
- (6)感染症

3. 一般会計との負担区分

- (1)繰入金の根拠
- (2)繰出基準以外の繰入等
- (3)その他

4. 経営基盤の安定

- (1)経営の効率化
 - ①民間的手法の導入
 - ②収入増加・確保対策
 - ③事業規模・形態の見直し
 - ④経費削減・抑制対策
 - ⑤その他の課題
- (2)経営形態の見直し
- (3)再編・ネットワーク化

5. 数値目標

- (1)人員計画
- (2)設備投資計画
- (3)収支計画

6. 点検・評価・公表

＜参考＞ 新病院基本構想・基本計画(案) 目次

【基本構想】

- I 基本構想について
 - 1 新病院建設の必要性
 - 2 基本構想の位置付け
- II 現状と課題
 - 1 当院を取り巻く環境
 - (1) 医療提供体制の状況
 - (2) 医療需要
 - 2 当院の状況
 - (1) 診療体制
 - (2) 経営状況
 - 3 新病院が果たすべき役割
- III 当院の目指すべき姿
 - 1 新病院の基本理念
 - 2 新病院の基本方針
 - (1) 「地域住民の信頼に応える病院」
 - (2) 「やりがいを持てる魅力ある病院」
 - (3) 「地域医療を支え環境にやさしい病院」
 - (4) 「経営基盤が安定し地域を守り続ける病院」
 - 3 新病院が担うべき医療機能(5 疾病 5 事業等における対応方針)
 - 4 新病院の診療体制等
 - (1) 診療科
 - (2) 病床数
- IV 新病院の建設地
 - 1 建設地に関する基本的な考え方
 - 2 建設地の選定
 - (1) 検討結果
 - (2) 選定過程
- V 新病院建設の概算事業費
- VI 整備スケジュール

【基本計画(案)】

- I 基本計画策定の考え方
 - 1 はじめに
 - 2 新病院の基本理念(基本構想より再掲)
 - 3 新病院の基本方針(基本構想より再掲)
 - 4 新病院が担うべき医療機能(5 疾病 5 事業等における対応方針)
 - 5 施設整備の視点
 - 6 新病院の施設整備方針
- II 部門別基本計画
 - 1 外来部門
 - 2 病棟部門
 - 3 救急部門
 - 4 手術部門
 - 5 中央材料部門
 - 6 臨床工学部門
 - 7 放射線技術部門
 - 8 検査部門
 - 9 リハビリテーション部門
 - 10 薬剤部門
 - 11 栄養部門
 - 12 健康管理センター
 - 13 患者サポートセンター
 - 14 医事部門
 - 15 事務部門
- III 医療機器・情報システム・委託・物流方針
 - 1 医療機器及び情報システム整備方針
 - 2 物流管理方針及びアウトソーシング方針
- IV 設計・施工の発注手法について
- V 事業収支計画について
- VI 経営形態について